

出雲ナンバー寄付金活用事業

電動アシスト自転車と自転車用ヘルメットを購入しました！

出雲市・飯南町とともに取り組みを進めてきた自動車の図柄入りご当地ナンバープレート(出雲ナンバー)の交付開始から3年が経過しました。
寄付金活用については関係諸団体と協議を行い、今年度初の寄付金活用として、出雲ナンバーの「おろち」デザイン入り「電動アシスト自転車1台」と「自転車用ヘルメット6個」を購入しました。(合計金額：159,690円)

近年、観光におけるレンタサイクルの利用が増加傾向にあること

から、地域内外の方にご利用いただけるよう、現在「出雲市観光協会」に設置してあります。また、レンタサイクルご利用の方先着100名様に「おろち」デザインのオリジナルステッカーのプレゼントもご用意しております。雪どけのシーズンになりましたら、電動アシスト自転車「おろち1号」と共に、出雲の自然を満喫ください。



ヘルメット

電動アシスト自転車

【お問い合わせ】 まちづくり産業課 有線：31-5265 電話：54-2524

令和4年度住民提案型

きらり☆輝く地域づくり事業

町民の皆さんが自ら主体的に企画・実施する、公益性のあるまちづくり活動の支援を目的とした「住民提案型きらり輝く地域づくり事業」では今年度の団体が採択され、活動を行っています。今回は、そのうちの1団体である出雲弁研究会の活動を紹介いたします。

出雲弁研究会

だれにも親しみやすく、様々な意思疎通ができ、口滿に暮らすことができる大切な暮らしの言葉である出雲の方言を改めて研究し、次世代への継承を図ることを目的としています。

事業内容

1. 出雲弁調査研究活動
→ 残したい、伝えたい方言を調査・記録する
2. 副読本「出雲ことば」の制作、発刊
3. シンポジウム開催(11月12日 13時半～16時)

11月には副読本「出雲ことば」が完成し、発刊されました。1冊1千円(税込)で多根自然博物館などで販売されています。お問い合わせは博物館内の事務局、電話0854-154-1000 3までご連絡ください。



【お問い合わせ】 まちづくり産業課 有線：31-5267 電話：54-2524

奥出雲町の魅力を伝える

地域ガイドを募集します

町内の「鬼の舌震」や「船通山」などの景勝地、「棚田」や「たたら文化」などの歴史観光を案内していただくガイドを募集します。奥出雲町在住で、町の魅力を伝えて頂ける方ならどなたでも参加できます。

つきましては、別表のとおり研修会を実施します。初回は、元TSKアナウンサー河野美知様を講師にお迎えし、おもてなしの基本を学びます。お気軽にご参加ください。

参加には、事前申し込みが必要です。詳細は、奥出雲町観光協会までお問い合わせください。

【お問い合わせ】 奥出雲町観光協会
有線 31-2260
電話 54-2260

ホームページ



●奥出雲町地域ガイド研修会の予定●

	実施日	内容
第1回	2月10日(金)	おもてなしの仕方を学ぶ(座学)
第2回	2月下旬	奥出雲の歴史・文化(座学)
第3回	3月下旬	出雲神話(座学)
第4回	4月中旬	鬼の舌震(現地開催)

※第1回の会場はカルチャープラザ仁多、第2回・第3回の会場は未定

令和4年度宝くじコミュニティ助成事業

宝くじコミュニティ助成事業は、宝くじの収入を財源とし、地域コミュニティの健全な発展を図るためのもので、(財)自治総合センターが宝くじの社会貢献事業の一環として行っています。今年度、宝くじコミュニティ助成事業の1つである「一般コミュニティ助成事業」により2つの団体に備品が整備されました。

●布勢地区福祉振興協議会

布勢地区福祉振興協議会にユニットハウス、かたんテント、椅子、テーブルが整備されました。これまで他地域から借用しており準備や片付けが大きな負担となっていました。今回整備されたことにより、文化祭や地域活動がスムーズに行えるため活性化が期待されます。



●亀高地区小さな拠点づくり委員会

亀高地区小さな拠点づくり委員会に除雪機(2台)、ワンタッチテント、椅子、テーブル、バーベキューコンロが整備されました。これによって、高齢者のみの世帯の除雪問題解消・地区住民の親睦を深める機会の増加が期待されます。



【お問い合わせ】 まちづくり産業課 有線：31-5267 電話：54-2524

みんなで人権について考えよう

「人権標語・イラスト」

優秀作品を表彰

人権意識の高揚と啓発を図るため、奥出雲町人権教育推進協議会では毎年、人権標語と人権イラストを募集しています。

今年度は、標語761点、イラスト43点の応募があり、12月10日、横田コミュニティセンターで表彰式が行われました。

表彰式終了後には、一人一人にいろいろな違いがあり、その違いを尊重すること、また、その違いに気付くことができる目や心を磨くこと、そして思いを伝えあうことが大切であることについて考える研修会を実施しました。なお、各部門の最優秀は次のとおりです。

【標語の部】

恩田 武おんだ たけさん(横田小3年)
「ごめんね おはよう ありがとう
キラキラ言葉のエネルギー」

【イラストの部】

松崎心晴 まつざき こはるさん(布勢小5年)

【人権イラスト最優秀賞】



【人権研修会の様子】

